



宮崎医療生活協同組合

このはな支部だより

第289号

2021年10月1日
連絡先 58-1222



10/1から11/30まで

このはな支部・運営委員会・発行

宮崎医療生活協同組合の力をたくわえる 強化月間です

十五夜の満月、お彼岸と天気にも恵まれましたが、大雨による内海地区の被害の影響が長引いています。被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。このはなクリニックの患者さん・組合員さんもいらっしゃり、このはな支部の担当区域です。お困りごとなどお寄せください。

「シトラスリボン」ご存じですか？

強化月間のシンボルとして 皆さんのお力も借りて がんばりたい..



シトラスリボンは「地域・家庭・職場（学校）」の3つの輪を表し、柑橘類（英語でシトラスCITRUS）をイメージしているので黄色から緑色のリボンです。今、全国に広がっていますが、最初は愛媛県で始まったこともシトラス色につながっています。

シトラスリボンを身につけることで新型コロナウイルスに関する差別や偏見をなくしたい！

地域の中で、笑顔の暮らしを取り戻せるように「ただいま」「おかえり」と言いあえる人の輪を広げたい！

医療従事者の方々への感謝を込めて！



*医療スタッフのみならず、希望される地域の皆さんへもお配りしたいと思っています。

月間中の このはな支部の目標は 仲間増やし10名 出資金増資15万円です

コロナ禍の中、病院もクリニックも介護事業所も踏ん張ってきました。医療生協は、組合員さんお一人お一人に支えられています。こうしてほしい.. のご意見ご要望とともに、医療生協を強く大きくしてください。



運営委員小田治さんの戦争体験と平和への思い その2 (8/7 平和学習にて)

92才の小田さんはたまたま戦地に赴くことはありませんでしたが、宮崎に戻って、宮崎農専畜産科（宮大農学部）で勉学に励みながら、激動する戦後に、平和と人々の生活の安定に尽くしていこうと決意するようになりしました。当時、住吉農場では四国からの入植者の人達が甘藷を作っていて、芋飴のおいがしたそうです。

運営委員の感想では、陸軍と海軍との方針の違いについての質問や、自分も小学校で教育勅語を読み、遠足で八紘一宇の塔に行ったなど出され、宮崎空港に残る掩体壕、特攻慰霊碑、タンポリ池の見学が提案されました。

*コロナの状況を見て、地域訪問と宮崎空港付近での平和学習ミニツアーを予定します
実施の際は、クリニックに掲示してお知らせします